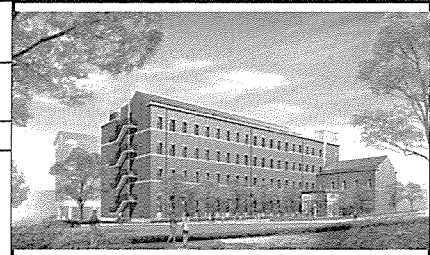


CASBEE[®] 新築 [簡易版]

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築 (簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	複合的研究施設(京田辺校地) 建築	階数	地上4F
建設地	京都府京田辺市	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域	平均居住人員	XX 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	XXX 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年11月 予定	評価の実施日	2013年9月1日
敷地面積	562,687 m ²	作成者	大山 美衣
建築面積	1,600 m ²	確認日	2013年9月10日
延床面積	5,556 m ²	確認者	垣口 知久



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 30% (kg-CO₂/年・m²)

② 建築物の取組み: 60% (kg-CO₂/年・m²)

③ 上記+②以外の: 80% (kg-CO₂/年・m²)

④ 上記+: 100% (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

音環境	3.0
温熱環境	2.6
光・視環境	3.4
空気質環境	3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

機能性	3.3
耐用性	3.2
対応性	3.3

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.8

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性	2.8

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

建物の	5.0
自然エネ	2.5
設備システ	4.8
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

水資源	3.4
非再生材料の	3.6
汚染物質	3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

地球温暖化	N.A.
地域環境	3.0
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		その他
<p>総合</p> <p>外部は、キャンパス内既存建築群にならった、レンガタイルと勾配屋根を基調とした意匠とし、周辺環境との調和を図った計画としている。</p> <p>内部は、大学研究機関として、将来対応を踏まえたフレキシブルな空間構成とメンテナンス性に配慮した材料の選定を行った計画としている。</p>		0
<p>Q1 室内環境</p> <p>研究施設にふさわしい研究、実験に配慮した内装計画としている。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>階高を高くすることで、空間にゆとりのある計画とするともに、天井裏からのメンテナンスを可能とするエリアも設置している。</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>既存樹木の移設、再利用など、キャンパス内の既存の景観に配慮した外構計画、配置計画を行う。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>ペレットストーブの採用など、再生可能エネルギー利用を行う。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>京都府産木材の利用や、エコマーク取得商品の積極的採用を行う。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>周辺のスカイラインになじむ建物ボリュームやレンガタイルの外装材を使うなど、学研同志社地区地区計画に則り、景観形成を行う。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される